

大宮駅周辺帰宅困難者対策協議会の概要

1 概要

- ◆ 活動エリア：大宮駅及びさいたま新都心駅周辺
- ◆ 会長：JR大宮駅副駅長
- ◆ 会員数：24人

駅	事業者	行政	その他
3人	10人	10人	1人

- ◆ 乗降客数 JR大宮駅 257,344人(R元年度乗車人数)
JRさいたま新都心駅 55,782人(＼)
- ◆ 地域の特徴
JR在来線・新幹線、東武鉄道、ニューシャトルと、多くの路線が乗り入れ、鉄道交通の結節点となっている。

2 活動内容

- ◆ 会議の開催回数：年間2回程度
- ◆ 誘導マニュアル等の策定の有無、内容
一時滞在施設運営ガイドライン(さいたま市版)策定
一時滞在施設マップの作成・配布
- ◆ 備蓄状況
被害想定ของさいたま市内での帰宅困難者数14,249人に対して、災害用ビスケット3食分、飲料水475ml×3本、保温シート1枚、非常用排便袋5袋を備蓄。(さいたま市で予算措置)
- ◆ その他の活動 施設独自の開設訓練の支援

3 訓練内容

- ◆ 訓練実施日：令和元年11月20日
- ◆ 実施場所：大宮駅構内、JACK大宮
- ◆ 参加者 151名
(協議会関係者、一時滞在施設関係者等)
- ◆ 訓練項目・概要
 - ①大宮駅構内利用者保護訓練
 - ②帰宅困難者誘導訓練
 - ③デジタルサイネージによる情報収集訓練
 - ④一時滞在施設開設・受入訓練

《概要》

東京オリンピック・パラリンピック開催を控えたなかで、外国人対応を含めた、帰宅困難者対応の実動訓練を実施したもの。

※その他、毎年度1回、情報収集伝達訓練を実施。